



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2023年5月15日（月）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 橋爪、鈴木
内線 2447、2399
ダイヤルイン 052-954-6130
FAX 052-951-2590

知事の米国渡航中の行事結果について

2023年5月14日（日）午前、知事は米国ワシントンD.C.において、ホロコースト記念博物館を訪問し、愛知県が2018年に開設した、杉原千畝^{すぎはら ちうね}氏の人道的功績を顕彰する屋外型展示施設「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」（名古屋市瑞穂区）に関する資料を寄贈しました。

1 ホロコースト記念博物館訪問（担当課：国際課）

（1）日時

2023年5月14日（日）午前9時25分から午前11時35分まで
（日本時間5月14日（日）午後10時25分から5月15日（月）午前0時35分まで）

（2）場所

ホロコースト記念博物館

（3）面談者

ポール・ローズ ホロコースト記念博物館研究員

（3）主な出席者

大村秀章知事

（4）内容

知事はホロコースト記念博物館を訪れ、ポール・ローズ研究員と面談し、2018年に杉原千畝^{ちうね}氏の人道的功績を顕彰する屋外型展示施設「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」（以下、「メモリアル」という。）を杉原千畝^{ちうね}氏の母校である愛知県立瑞陵^{ずいりょう}高等学校に開設したことを報告するとともに、メモリアル建設にあたって写真や資料の提供をいただいたことに感謝の意を伝え、メモリアル開設の記念冊子と関連資料や写真を収めたフォトブックを寄贈しました。

知事は、「昨年5月には、イスラエルのヤド・ヴァシェム（ホロコースト記念館）を訪問し、献花・記帳も行った。今後も、愛知県では、杉原氏の人道的功績の周知等による人材育成とともに、ホロコースト記念博物館を始めとする皆様と連携を深め、ホロコーストの記憶を若い世代に伝え、二度とこのような悲劇が起きないようにしていくための取組に尽力していきたい。」と話しました。

ポール・ローズ研究員は、「杉原千畝^{ちうね}氏は世界中の人々に知ってもらうべきである。寄贈された資料は、博物館のライブラリーに杉原千畝^{ちうね}氏関連の書籍と共に所蔵し、多くの来館者に見ていただきたい。」と話しました。

知事は、ポール・ローズ研究員の案内で杉原千畝氏も紹介されている博物館の視察を行い、記念碑の前で哀悼の意を捧げました。

【ホロコースト記念博物館概要】

- 開設 1993年4月
- 敷地面積 1.9エーカー（約7,690平方メートル）
- 施設説明 第2次世界大戦でナチス・ドイツが行ったユダヤ人大量虐殺をテーマにし、当時の資料や写真のほか映像、模型、強制収容所の内部を再現した部屋などを展示している。ナチスの強制収容所ではユダヤ人600万人以上が犠牲となっており、その悲惨さを伝える世界最大規模のホロコースト博物館である。



メモリアルに関する資料を説明する様子



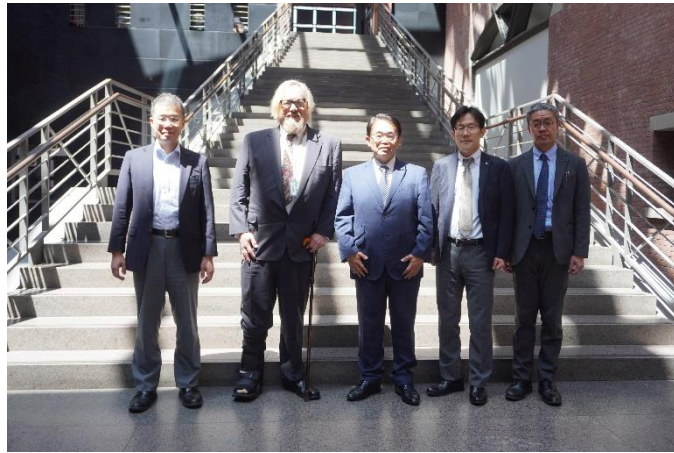
館内を視察する様子



杉原千畝を紹介する展示の前で記念撮影



記念碑の前で哀悼の意を捧げる様子



ポール・ローズ研究員（左から2人目）と記念撮影